

みやぎNPO夢ファンド (B) ステップアップ支援プログラム
平成 20 年度助成事業 最終報告書

21年4月29日

団体名	特定非営利活動法人ネットワークオレンジ
事業名	「障がい者が社会参加出来る環境の整備事業」
連絡担当者お名前 (ふりがな)	藤村 武大 (ふじむら たけひろ)
助成金を使って行った事業について、具体的にご記入ください。 (事業の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください)	

障がい者の自立支援事業「地域塾」

【障害者自立支援法に基づく制度事業】

(宮城県指定障害福祉サービス)

【生活支援事業】

■アットホームオレンジ
グループ (ケア) ホーム
事業所番号 : 0420500266

※夢ファンド対象外

【社会参加支援事業】

■オレンジキッズ
児童デイサービス
事業所番号 : 0410500227

【任意で行う自主事業】

【企業】

協働×就労体験

【行政】

協働×就労体験

【就労体験事業】
■NPO 協働事業

協働×就労体験

【地域】

【兄弟養育支援事業】

■スマイルサポート

協働×就労体験

【NPO】

助成金を使って行った事業について、具体的にご記入ください。(続き)

■自立支援事業「地域塾」の実施

■現在、当法人では常勤スタッフ4人体制（有給）で運営を行っています。

■事業としては、知的障がい者の自立支援事業「地域塾」の運営を基盤に、障害者自立支援法に基づく①児童デイサービス/オレンジキッズ②グループ（ケア）ホーム/アットホームオレンジ（夢ファンド対象外）と、任意で行う自主事業③就労体験事業/NPO 協働事業④兄弟養育支援事業/スマイルサポートの4つのサービスを実践しています。

■現状としては①のオレンジキッズでの事業収入が全体の約9割（約50～60万円/1ヵ月）を占めており、実質的にスタッフ体制もオレンジキッズを中心に稼働しています。

～進捗状況のイメージです。～

●オレンジキッズ→フル回転。ニーズも高い。

- ・現在利用登録者数は16名です。
- ・1日辺り平均で6～7名の利用があります。（22日稼働/1ヵ月）
- ・口コミで利用希望者が増えてきています。
- ・家庭×学校×オレンジの連携体制が作られ始めています。

●NPO 協働事業→将来に向けた準備は進んでいるが...

- ・現在日常的な利用者は2名です。
- ・今後利用者を増やして、制度適用化（就労継続支援 or 地域活動支援センター）を図るとともに、独自の就労体験システムの確立を目指しますが、今はその種まきの時期と考えています。
- ・オレンジキッズの卒業生がそのまま利用することも期待できます。

●少数派ではあるがニーズはある。

- ・まだまだ始まったばかりで課題や方向性は今後見えてくると予測しています。

地域塾利用回数累計と、登録者の内訳 (アットホームオレンジ除く)				
	オレンジキッズ	NPO協働事業	スマイルサポート	地域塾合計
登録数	16	5	2	23
4月	45	—	—	45
5月	61	45	—	106
6月	112	33	—	145
7月	120	30	—	150
8月	139	25	—	164
9月	138	26	—	164
10月	145	34	4	183
11月	152	30	1	183
12月	135	19	2	156
1月	119	21	1	141
2月	143	26	—	169
3月	154	28	1	183
合計	1463	317	9	1795

今年度活動実績一覧表（夢ファン্ড対象のみ）	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ■児童デイサービス/オレンジキッズ 事業所認可取得 ■「八日町オレンジ」事業所開設 ■保護者説明会開催
5月	<ul style="list-style-type: none"> ■児童デイサービス「オレンジキッズ」開始 ■「障がい者のクロネコメール便配達事業」開始 ■「NPO協働事業」活動開始 ■第1回通常総会開催 ■青空市参加
6月	<ul style="list-style-type: none"> ■臨時総会開催
7月	<ul style="list-style-type: none"> ■青空市参加
8月	<ul style="list-style-type: none"> ■気仙沼みなとまつり参加 ■「お泊まり地域塾」開始 ■第1回「社会企業家研究会」準備会 ■臨時総会開催
9月	<ul style="list-style-type: none"> ■青空市参加 ■第2回「社会企業家研究会」開催 ■臨時総会開催
10月	<ul style="list-style-type: none"> ■「スマイルサポート事業」開始 ■第3回「企業家研究会」開催 ■「おれんじミーティング」開催
11月	<ul style="list-style-type: none"> ■「ハロウィン大作戦2008」開催 ■青空市参加 ■第4回「企業家研究会」開催
12月	<ul style="list-style-type: none"> ■「ぼくらのクリスマス大作戦2008」×「NPO情報交流会」開催
1月	<ul style="list-style-type: none"> ■「みやぎNPO夢ファン্ড」中間報告会参加
2月	<ul style="list-style-type: none"> ■「けせんぬま☆☆みらい塾」開催
3月	<ul style="list-style-type: none"> ■地域塾個別面談実施

助成金を使って行った事業について、具体的にご記入ください。(続き)

- 事業名 : 「おれんじミーティング」
- 開催日時 : 別紙参考資料1のとおり
- 目的 : 別紙参考資料1のとおり
- 内容 : 別紙参考資料1のとおり

～事業成果～

- 第1回目/参加総数11名(スタッフ3、保護者6、サポーター2)
 - ・参加した全員の保護者とサポーターから今回の主旨に対して賛同をいただきました。
 - ・小1の男の子の保護者から「地域と共存してゆく中で、ネットワークオレンジと巡り合えたのはありがたいし、こういう機会に情報交換を図りたい」との意見をいただきました。
 - ・小4の女の子の保護者から「一人で悩まなくていいと思うと、気が楽になった。家族だけでは支援にも限界がある」とミーティングの継続的な開催を切望する意見がありました。
- 第2回目/参加総数8名(スタッフ4、先生4)
 - ・「地域塾/オレンジキッズ」に通う生徒の担任の先生方に、何らかのアクションが発生しました。また、参加した全員の先生から今回の主旨に対して賛同をいただきました。
 - ・小4の女の子の担任の先生が、今回の主旨に賛同し「家庭」と「学校」の連絡ノートへの、ネットワークオレンジで閲覧、記入を依頼してきました。
 - ・小6の男の子の担任の先生が、ネットワークオレンジの活動内容を知り、同学校の特別支援学級に通う生徒の保護者へ紹介を促す姿勢を見せました。
 - ・小3の男の子の担任の先生と、児童の支援について今後も継続的に協力し合ってゆきたい意向で合意を結べました。
- 総評
 - ・「おれんじミーティング」の継続的な開催は切望されています。が、その手法は今後の課題です(情報発信や協議の中身など)また、そこから生まれた成果の輪を、ネットワークオレンジとしてどのように啓発してゆくかは検証が必要です。



助成金を使って行った事業について、具体的にご記入ください。(続き)

- 事業名 : 「ぼくらのハロウィン大作戦2008」
- 開催日時 : 別紙参考資料2のとおり
- 目的 : 別紙参考資料2のとおり
- 内容 : 別紙参考資料2のとおり

～事業成果～

- 参加総数52名
(スタッフ10、地域塾生15、地元小学生10、保護者6、一般11)
- 協力店舗(お宅)8軒
- 寄附(お菓子など)6軒
- ・準備の段階から地域塾生(オレンジキッズ、NPO協働事業班)がスタッフと共に創作活動を進め、ただ参加するだけでなく「自分たちで作る」イベントとなり得ました。
- ・地域への事前周知に、スタッフとNPO協働事業班メンバーがチラシ配りをしました。チラシを目にした方々から、理解を示す意見をいただきました。
- ・当日はサポーターや保護者が、自発的にイベントの進行を手伝ってくれました。
- ・イベント終了後、参加者から来年の継続開催を望む声がありました。
- 総評
- ・昨年も開催したイベントですが、地域からの理解が広がっていることを実感しました。また、スタッフとサポーターの連携もレベルアップしています。地域塾生が、保護者から離れてイベントに参加できたことも、好評をいただきました。



助成金を使って行った事業について、具体的にご記入ください。(続き)

■事業名 : 「ぼくらのクリスマス大作戦2008」 × 「NPO 情報交流会」

■開催日時 : 別紙参考資料3のとおり

■目的 : 別紙参考資料3のとおり

■内容 : 別紙参考資料3のとおり

～事業成果～

■参加総数81名

(スタッフ12、地域塾生12、一般/子ども12、一般/大人17 保護者8 その他19

※NPO 情報交流会の協力として13団体)

■寄附(お菓子やおもちゃなど)6名 4団体から

- ・今回のイベントでは初めての試みとして、日ごろネットワークオレンジの活動に協力をいただく団体の方々の情報を展示・発表する「NPO情報交流会」を合同開催しました。こちらは他のNPO(法人・団体)、社会福祉法人(市社協等)、地域商店会、財団法人、行政、一般企業など、さまざま分野の方々を対象に声かけを行い、13団体の参加をいただきました。
- ・参加者全員には「明治製菓(株)株主優待品 お菓子寄贈」でいただいたお菓子の袋詰め(明治製菓のCSRを紹介するメッセージカード付)が配られ、参加者を喜ばせました。
- ・参加した保護者からは「自分の子どもが、イベントをみんなと一緒に過ごすことが出来て嬉しかった。」「様々な人たちと知り合えて、貴重な機会でした。」との声をいただきました。
- ・NPO情報交流会に参加した団体の中には、知的障がい者の就労支援に取り組む法人の事業紹介もあり、保護者の中には興味深く聞き入る姿も見られました。自分の子どもの将来に対して、可能性や方向性を見出す機会になり得たのではないかと考えております。

■総評

- ・まずは大成功です。が、課題も目立ちました。
(詳細は添付資料のとおりです。)



助成金を使って行った事業について、具体的にご記入ください。(続き)

- 事業名 : 「けせんぬま☆☆みらい塾」
- 開催日時 : 別紙参考資料4のとおり
- 目的 : 別紙参考資料4のとおり
- 内容 : 別紙参考資料4のとおり

～事業成果～

- 参加総数45名

(スタッフ4、サポーター6、地域塾17、一般7、教育機関6、専門機関(団体)5)

- 総評

まずは成功したと言えます。しかしながら、ネットワークオレンジとしての準備不足、勉強不足が露呈されました。不完全燃焼な印象です。講演の内容が「ネットワークオレンジの伝えたいこと」＝「くもりのち晴れの伝えたいこと」ではありませんでした。(講演内容に) 共感出来得る部分は多くありましたが、特に制度が絡む内容については疑問が残りました。事前に講師との調整が足りなかったのが要因と考えられます。また、(特に交流会の中で) ネットワークオレンジの色を出してもよかったのでは? という意見もありました。いずれにしても。次の「けせんぬま☆☆みらい塾」に繋がる内容にはなり得ました。



2年目の成果目標はどの程度達成できましたか。当初目標と比較してください。

●申請書に記載した成果目標

① 充実したサービスを展開するための法人格取得

② 安定したサービスを提供するための常駐スタッフの確保

③ 適正な室内環境を確保するための新店舗移転計画

●目標の達成度・団体に与えた効果

① 平成20年1月に法人格を取得

- ・法人設立により、充実したサービスを展開することができました。
- ・「障害者自立支援法」に基づく制度事業（児童デイサービス）の認可取得を図り4月に事業所認可を取得しました。
- ・ニーズに合わせ、予定より1年早く児童デイサービスを開始しました。
- ・利用者が平日利用できるサービスの確立と、料金軽減を図ることができました。
- ・「NPO」＝「ボランティア」の誤解が地域に根強く存在しているので、啓発になり得る活動が望まれます。

② 12月現在有給スタッフは4人確保

- ・制度事業を実践することで、少ないながらも事業収入があり、運営費を捻出できるようになりました。
- ・週1回のペースで、非常勤スタッフが1名（無給）と、サポーター1名が活動に参加してくれまます。
- ・スタッフ自身のスキルアップと、一人一人の業務負担が大きいのが課題です。

③ 3月に「八日町オレンジ」を開所

- ・室内環境が改善し、最低限の設備も揃えることができました。
- ・地域の方々からの理解も得られつつあります。
- ・交流サロンの機能がやや停止状態です。しかしながら、気軽に事業所を訪れる地域住民もいます。

●2年目の事業を通じて、新たに見えてきた課題はありますか。

もしあれば、その解決に向けて必要なこととお書きください。

■課題その1：スタッフ不足（ひとりひとりの業務負担が大きい）

- ・個人のスキルアップと、サポーターとの協力体制強化が必要と考えられます。

■課題その2：資金不足

- ・必要最低限のことはできていますが、より充実させるために事業収入のUPを目指します。

■課題その3：情報発信が下手

- ・これも個人のスキルアップと、各種研修会へ参加するなどして克服してゆきたいと思えます。

■課題その4：連携不足

- ・地域塾を実践する中で、「療育」には当事者の周囲の環境も大きなポイントですが、「ネットワークオレンジ」「家庭」「学校」間で、考え方や認識のズレがありました。その解決に向け「おれんじミーティング」を実施し、その他にも様々手法で協力体制を呼びかけましたが、まだまだ不十分なのが現状です。

■課題その5：室内環境の不備

- ・前年度、旧駄菓子屋「粋」から八日町オレンジに移転をしましたが、利用者が予想以上に増え、モノも増えたため、だんだん狭くなってきました。別の事業所をもう一か所増やすべきか、検証中です。

3年目（平成21年度）の事業計画・成果目標（具体的にお書きください）

3年目（平成21年度）	
事業計画	
●基本コンセプト→運営基盤の充実化と、課題解決。	
①地域塾の運営をさらに充実化させる。	
<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジキッズ→家庭×学校×オレンジの連携を強化する。 ・NPO協働事業班→就労体験の機会を増やす。 ・スマイルサポート→兄弟参加の機会をつくる。 	
※平成20年1月の中間報告会の時点で、地域塾全体の利用登録者数は19名でした。その後新規利用者が3名増え、目標はあと2人です。	
②啓発活動の実践	
<ul style="list-style-type: none"> ・情報交流会（けせんぬま・みらい塾）の開催→オレンジ×地域×行政×企業×NPO ・社会起業家研究会の確立→オレンジ×企業家ネットワーク ・座談会や講座（おれんじミーティング）の実施→オレンジ×保護者×サポーター 	

平成21年度 活動計画一覧表（夢ファン্ড対象のみ）	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ■青空市参加 ■遠足
6月	<ul style="list-style-type: none"> ■第2回「けせんぬま☆☆みらい塾」開催 ■「おれんじミーティング」実施（保護者と学校）
7月	■青空市参加
8月	■気仙沼みなとまつり参加
9月	<ul style="list-style-type: none"> ■青空市参加 ■地域塾個別面談
10月	<ul style="list-style-type: none"> ■「おれんじミーティング」実施（保護者と学校） ■「ハロウィン大作戦2009」開催
11月	■青空市参加
12月	■「ぼくらのクリスマス大作戦2009」×「NPO情報交流会」開催
2月	■第3回「けせんぬま☆☆みらい塾」開催
3月	■地域塾個別面談

この年の成果目標

①地域塾生を、5名増やす。

※平成21年1月の中間報告会の時点で、地域塾全体の利用登録者数は19名でした。その後新規利用者が3名増え、目標はあと2人です。

【重点目標】

・オレンジキッズの利用頻度を増やすことで（目標は1日あたり平均10名の利用）、事業収入を増やし、資金不足の解決を目指します

②サポーターを30名にする。

※平成21年1月の中間報告会の時点で、サポーターの総数は20名でした。その後1名増え、目標はあと9名です。

【重点目標】

・イベントをきっかけにした情報発信と、課題意識の共有化を図ります。そして理解の輪を広げ、サポーターの自己実現につながるような機会を提供し、連携を強化します。